

■ 第11回ワークショップアンケート結果 ■

- これからの鞆について議論するすばらしい場だと思った
- 若い世代の希望に満ちた意見を大切にしたいと思った
- “自分に何ができるだろう”という気持ちが持てるようになった
- 話したことのない鞆の人の意見が聞けてとても良かった
- ワークショップを通じて、住民の意識が少しずつ前へ向いていった
- 住民同士や行政の人と鞆について話すことができた貴重な機会だった
- どんな意見でも受け入れて、話を聞いてくださり嬉しかった
- どんな鞆にしたいかをみんなで熱く話し合うことで、改めて鞆に生まれて良かったと思った
- はじめは、この話し合いが何になるのだろうという思いがあったが、示されたビジョンを読んで、今までの話し合いが有意義であったと思えた
- よりよい町になるためには新しいことを取り入れることも大切だと思った

など

■ これまでのワークショップのようす ■



お互いに共感しあえる鞆の将来を見据えた「鞆まちづくりビジョン」を鞆のみなさんと一緒に策定するため、2016年度（平成28年度）からワークショップを積み重ねてきました。3月17日（土）に開催した第11回ワークショップをもって、「鞆まちづくりビジョン」を完成することができました。大変多くの方々に参加いただき、また、ワークショップの開催に支援をいただきありがとうございました。これから、鞆まちづくりビジョンを「台本」として、みなさんが主役となって進めるまちづくりが始まります。

住民主体のまちづくりに向けた「鞆の幕開け」



第11回ワークショップ参加者による集合写真

「鞆まちづくりビジョン」の完成によせて

全11回のワークショップを重ねて、「鞆まちづくりビジョン」ができあがりました。2017年の夏から2018年の春までの1年半以上の時間をかけ、延べ770人の参加による、延べ時間38時間の話し合いの成果です。最初の2回のワークショップは、平日の夜に2時間をかけた話し合いでしたが、住民のみなさんの鞆に寄せる思いをビジョンにまとめるには不十分という判断から、第3回からは土曜日（1回は日曜日）の午後1時から5時までの4時間という長い時間のワークショップとしました。時間が長いという感想をアンケートに書いてくださったかたもいましたが、鞆のまちづくりのために大切な時間をみなさんと共有できたことがこのビジョンをつくりあげられた理由だと思います。

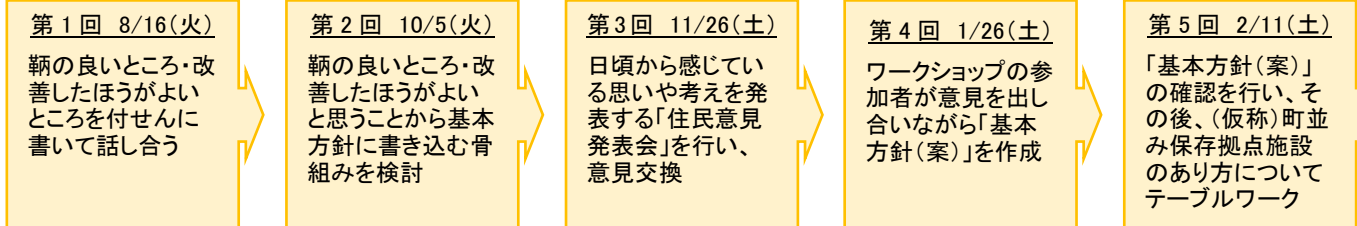
日本中どこでも同じですが、少子高齢化が進む地域のまちづくりでは、つぎの世代がどう育っていくかが大きな課題です。鞆も同じ課題をもっていますが、ワークショップでは、小学生と中学生の参加があったことがビジョンの中身にも大きく反映されています。このビジョンは、つぎの世代のためのビジョンであるとともに、次世代を担う小学生、中学生も主体として参加してつくりあげたビジョンでもあります。中学生のみなさんの立派な発言は、このまちづくりビジョンに輝きを与えています。

鞆のみなさんがこのビジョンをこれからのまちづくりに参加するときの、いわば「台本」として活用していただけるように祈っています。

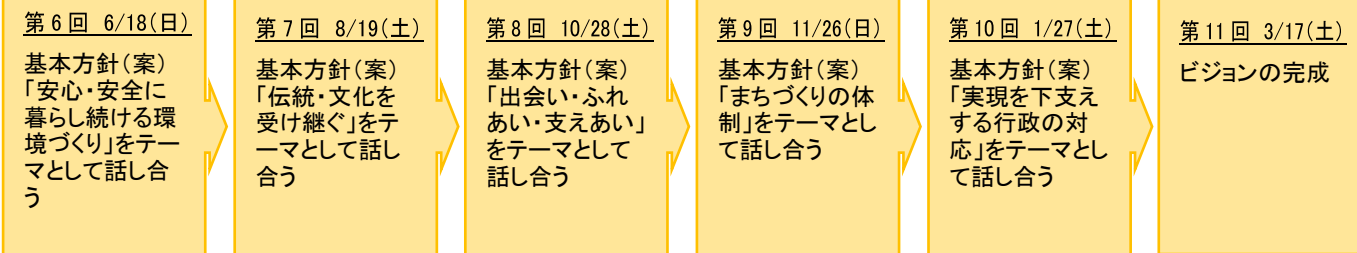
一般社団法人コンセンサス・コーディネーターズ 代表理事 桑子敏雄

ビジョン策定の経緯

2016年度（平成28年度）



2017年度（平成29年度）



鞆まちづくりビジョンワークショップとは

鞆まちづくりビジョンワークショップは、鞆まちづくりビジョンの策定に向けた取り組みとして、2016年度（平成28年度）から、福山市が事務局となり、鞆学区まちづくり推進委員会の協力のもと、誰もが参加し、意見を出し合える場として開催したものです。

■ 鞆まちづくりビジョンが完成しました ■

鞆まちづくりビジョン



鞆まちづくりビジョンワークショップ

目 次

第1章 鞆まちづくりビジョンについて

- 1 鞆まちづくりビジョン策定趣旨
- 2 鞆まちづくりビジョンとは
- 3 鞆まちづくりビジョン策定の経緯

第2章 鞆の現状

- 1 地勢
- 2 歴史・文化
- 3 人口
- 4 産業
- 5 社会基盤
- 6 教育・福祉

第3章 鞆まちづくりビジョン

- 1 まちづくりの目標
- 2 鞆の将来像
 - (1) 安心・安全に暮らし続ける環境づくり
 - (2) 伝統・文化を受け継ぐ
 - (3) 出会い・ふれあい・支えあい
 - (4) まちづくりの体制
 - (5) 実現を下支えする行政の対応

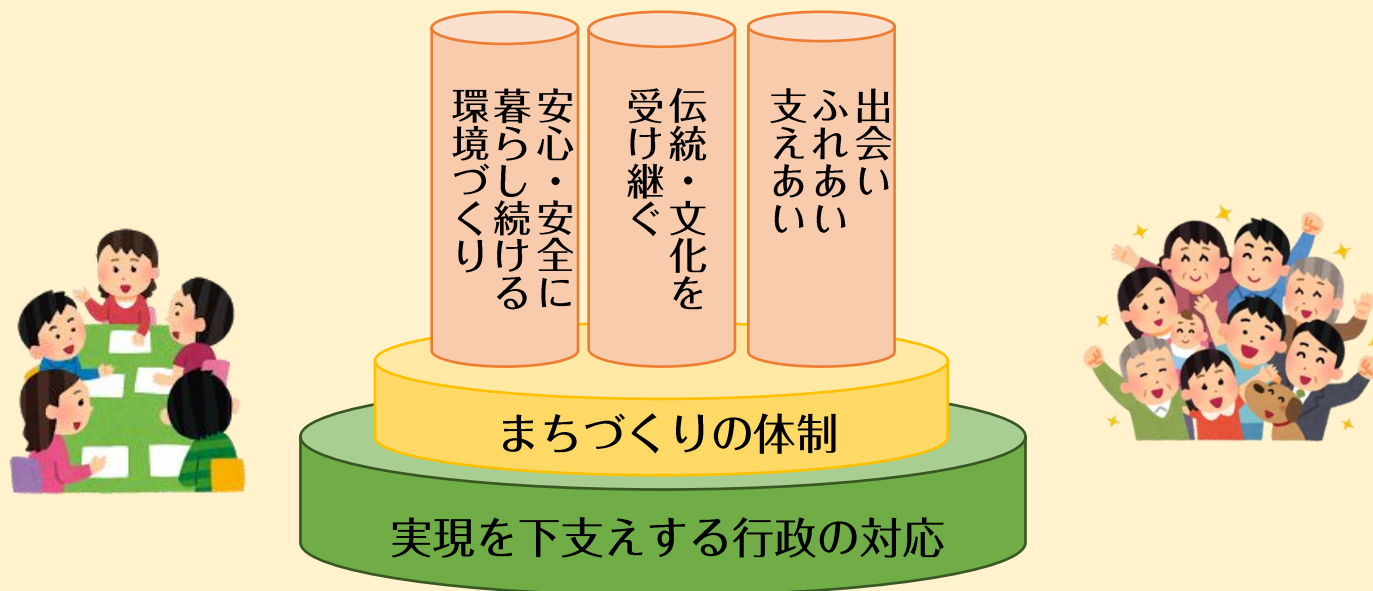
第4章 ビジョン実現に向けて ～次世代へのメッセージ～

■資料編

まちづくりの目標

(1) 安心・安全に暮らし続ける環境づくり	<ol style="list-style-type: none"> ① 子どもから高齢者、障がいのある人も安心・安全に暮らし続けることのできるまちづくりを進めます。 ② 空き家対策、雇用の創出、日常の買い物の場など、暮らしやすいまちづくりを進めます。 ③ 災害に備え、防災意識を高め、住民どうしの助け合いを大切にするとともに、避難場所・経路や緊急車両の通行の確保、自助・共助による防災体制の強化を含めた防災・減災対策を行います。
(2) 伝統・文化を受け継ぐ	<ol style="list-style-type: none"> ① 鞆の歴史的・文化的価値の認識を共有し、町並みの保全をはじめとした文化財の保存・活用を図ります。 ② 重要伝統的建造物群保存地区をはじめとする鞆の歴史・文化の情報を発信します。 ③ 住民どうしを繋ぐ伝統行事である祭りを継承します。
(3) 出会い・ふれあい・支えあい	<ol style="list-style-type: none"> ① 地域の繋がりを活かし、誰もが自分らしく輝き活躍できるまちづくりを進めます。 ② 子育てしやすいまちづくりを通じ、将来の鞆を担う子どもが地域に愛着を持ち、夢を育み育つことのできる環境をつくりまします。 ③ 鞆に暮らす人も訪れる人も快適に過ごし、多様性を認めあうまちづくりを進めます。
(4) まちづくりの体制	<ol style="list-style-type: none"> ① 子どもたちから高齢者までの各世代、また、組織、団体など多様な主体が連携したまちづくりを進めます。 ② 鞆の未来のために、鞆の浦学園、鞆こども園を大切なまちづくりの主体として位置付けます。 ③ 鞆まちづくりビジョン実現のための体制や役割を明確にし、短期的な取り組みと中長期的な取り組みを計画的に行います。
(5) 実現を下支えする行政の対応	<ol style="list-style-type: none"> ① 歩行者と車、自転車、バイク等が安全に安心して通れる生活道を含む交通システムを構築します。 ② 良好な保育・教育環境の形成や、地域活動拠点の整備、遊休公共施設の活用などを通じ、まちづくりの仕組みづくりを支援します。 ③ 高潮や土砂災害等の自然災害への備えや、防災体制の維持・強化など、行政が住民と協働して行うべき防災対策を計画的に行います。 ④ 鞆の人々が安心して暮らせるインフラ整備を推進します。

鞆まちづくりビジョンは、冊子にして6月頃に鞆町内の各戸にお配りします。



まちづくりの主役は、鞆町のみなさんです。

行政は、まちづくりビジョンの実現に向けて、地域のさまざまな取り組みや課題の解決を協働で進めるとともに、施策や事業で下支えします。

※「鞆の浦学園」は、鞆小学校と鞆中学校が統合してできる小中一貫の義務教育学校です。